

【主題名】 その人のために

【教材名】 最後のおくり物

【本時のねらい】

ジョルジュじいさんやロベータの姿を通して、相手の状況を把握し、相手のためになる行動を考え、実行することのよさに気付かせ、思いやりの心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。

【指導の要点】

自分がどうすることが相手のためになるのかについて考えさせる。相手のことを考えるとは、相手の状況や立場を知り、本当に相手のためになるか考えたうえで、できる限り最善を尽くし、その人のために行動することであると気付かせたい。

【主題に関わる児童生徒の実態】

困っている友達がいると、声をかけたり、教えたり、手助けする姿が見られる。しかし、その行動が本当にその人のためになっているのか、本当に相手の力につながっているのかは、十分理解できていないと考える。

【授業を通して引き出したい児童生徒の考え】

- ・思いやりとは、相手の力につながる行動ができていること。
- ・相手のためになるように、精一杯手助けしていくことが大切。
- ・すごいことはできなくても、自分のできることを考えて手助けしていくことが大切。
- ・自分が経験したことを考えながら、それを生かして、その人のために行動する。
- ・最善を尽くすことで、相手が幸せになる行動をとりたい。

指導上の工夫

板書計画（ポイントのみ）

自分自身との関わりで考えるための工夫

事前に自分がしたことやされたことがある親切についてアンケートから親切にした時の気持ちを想起させる。振り返りの際に、自分自身が考えていた思いやりとジョルジュじいさんから学んだ思いやりを比較して考える場を設定した。

多面的・多角的に捉えるための工夫

ロベータの視点に立って考えることで、ロベータが感じたジョルジュじいさんの思いやりの深さに気付かせるための場を設定した。

主題に迫るための工夫

自分の考える思いやり、ジョルジュじいさんの視点にたった思いやり、ロベータを通じたジョルジュじいさんの思いやりという発問構成にすることで、「思いやり」について深く考えさせる。

思いやり

- ・相手を自分のことのように考え、行動すること
- ・相手の力に繋がるか考える。
- ・自分のできる限りの思いやりが自分や相手の力に繋がる
- ・何に困っているか、状況を知って、自分がどんな手助けをしていくか考えていく。

・相手の喜びや幸せが自分の幸せにつながる。  
・相手にためになる手助けをしていく  
・自分のできる範囲で最善を尽くし、サポートする。

・自分の事を一番に考えてくれた。  
・感謝↓恩返しがしたい。  
・自分の命を削ってまで、自分のことを助けてくれた。

ジョルジュからの思いやりを受けて

・気を遣ってほしくない  
・遠慮せず使って

ジョルジュじいさん

・相手の状況を知って、少しでも助けたいと思ったから。  
・ロベータの俳優になる思いを身近で見ても打たれたから。  
・自分が夢を目指していた頃の自分と重なった↓苦しいことや辛いこと

どうして、このようなことができたのか

思いやり  
最後のおくり物  
・困っているから助けてあげたい 友達のために

**【学習指導過程】**

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	児童生徒の反応
<b>導入</b>	○（アンケート結果をもとに）どんな気持ちで親切にしましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った時に、励ましてくれた、教えてくれた ・友達が相談にのってくれた →困っているから助けてあげたい。 →友達のことを思って</li> </ul>
<b>展開</b>	<p>○どうして、ジョルジュじいさんはロベールにこのようなことができたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョルジュじいさんが行ったロベールの立場に立って考えた思いやりについて考えさせる。</li> </ul> <p>◆なぜ、名乗らずにロベールに月謝を渡したのだろう。</p> <p>○ロベールは、ジョルジュじいさんの思いやりを受けてどんなことを感じたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりを受け取る側の気持ちを考えることで、ジョルジュじいさんの思いやりの深さを考えさせる。</li> </ul> <p>◆どうして、自分を犠牲にしてまで相手に尽くすことができたのだろう。</p> <p>◎「思いやり」とは、何だと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のためになるとはどういうことかについて、児童の言葉で語らせる。</li> </ul> <p>◆自分がしたことが相手にとって嬉しくなかったら？</p> <p>○今日の学習を通して、考えたことを書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習前と学習後で自分の考えが変容したことについて書かせ、交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロベールの役に立ちたいと思ったから。</li> <li>・自分と同じ経験（俳優の夢）をしていたから、少しでも力になりたい。</li> <li>・相手の立場や状況を知って、助けたいと思ったから。</li> <li>・ロベールのために、お金を支援したのに、使ってくれなくなる。</li> <li>・気を遣わずに、自分の夢のために使ってほしい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のために無理をしてまでお金を作ってくれ、心から自分のことを支えてくれたから、感謝している。</li> <li>・自分のできる範囲で恩返しをしたい。</li> <li>・自分のことを親身になって支えてくれたよき理解者だと思っている。</li> <li>・どんな時でも、自分の事を一番に考えてくれて、陰ながら支える人。</li> <li>・自分の命を削ってまで、人のために行動することがすごい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俳優になる楽しさだけでなく、辛さや苦しさを分かっているからこそ、自分のできる範囲で手助けしたいと感じたから。</li> <li>・ロベールの喜びが、自分の幸せ・喜びにつながる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何に困っているか、状況などを知り、自分がどのような手助けをしていくか考えていく。</li> <li>・相手を自分のことのように大切に思い、相手の力になるか考えている。</li> <li>・自分ができる最善の思いやりが相手のためにつながる。</li> <li>・相手のしてほしいことをすることが思いやり。</li> <li>・おしつけにならないためには、相手のためになることをしっかりと考えて、手助けしていくことが大切。</li> </ul>
<b>終末</b>	○教師の説話を聞く。	

**【評価の視点】**

- ・2人の立場に立って考えることで、思いやりについての考えを広げている。（多面的・多角的）
- ・相手のためになるような思いやりについて自分なりに考えをもち、最初の考えと比較しながら考えている。（自己とのかかわり）